



怒濤精神

糸満高等学校 校長だより

令和8年7月9日（木）

発行者 校長 山城 芳則

第4号

【速報】夏の甲子園県大会 糸満8強入り！ つかめ甲子園！！

本校野球部は「球道無限」を合言葉に、第108回全国高等学校野球選手権沖縄大会で躍動しています。

1回戦 対辺土名高校 6月20日（土）コザしんきんスタジアム

1回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
糸満	4	1	7	1	9					22
辺土名	0	0	0	0	0					0



22対0（5回コールド）で快勝しました。初回、無死満塁の好機から4番・仲間の適時打、5番・福元の犠牲フライ、7番・知花の二塁打などで4点を先制。その後も打線が爆発し、毎回得点で計22点を挙げました。投手陣は先発・新垣光汰朗から沢岷、仲間へとつなぐ継投で相手打線を完封。眞玉橋監督の采配も見事に的中し、控え選手も大活躍しました。19安打22得点、出場選手18人全員でつかんだ5回コールド勝ちでした。中でも、キャプテン徳元のタイムリー三塁打は見事な一打で、チームを大いに勢いづけました。

2回戦 対沖縄カトリック高校 6月23日（火）ユニオンスタジアム宜野湾

2回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
沖縄カトリック	0	0	1	0	0	0	0	0		1
糸満	3	0	1	0	3	0	0	1		8



8対1（8回コールド）で勝利しました。試合前には「慰霊の日」に合わせ、球場全体で1分間の黙とうが捧げられました。先発は新垣光汰朗。初回から四球や送りバント、盗塁など機動力を生かした攻撃を展開し、4番・仲間、5番・福元のタイムリーで3点を先制しました。その後も安打に盗塁を絡めながら着実に得点を重ね、試合を優位に進めました。投手陣も6回から渡慶次、7回から赤嶺へとつなぐ継投で相手打線を抑え、見事8回コールド勝ちを収めました。

3回戦 対ウェルネス高校 7月4日（土）、アグレスタジアム北谷

3回戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ウェルネス	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3
糸満	1	1	0	0	0	0	1	5	×	8



秋季県大会準優勝・九州大会ベスト8の実力校であるウェルネス高校と対戦しました。試合はエース新垣の力投もあり、序盤から2対2の同点で進む大接戦となりました。勝負が動いたのは7回裏。1死一塁の場面で、ファウルで粘り続けた金城惺也がライト線を破るタイムリー三塁打を放ち、貴重な勝ち越し点を挙げました。さらに8回裏には1死満塁の好機から、神谷、平田、赤嶺、仲間が怒濤の連続タイムリー。打線が一気に爆発し、この回5得点を奪いました。守っては、8回から登板した赤嶺が好リリーフを見せ、9回の守りを1失点で締めくくり、8対3で勝利しました。

この勝利の陰には、遠い北谷球場まで駆け付け、スタンドを埋め尽くしてくださった大応援団の存在がありました。猛暑の中、熱い声援を送ってくださった皆様に心から感謝申し上げます。

準々決勝 対沖縄尚学高校 7月11日（土）セルラースタジアム那覇 9時プレイボール予定

相手は昨年の2回戦で敗れた第1シード沖縄尚学高校。全国制覇の実績を誇る強豪校との戦いになります。選手たちは甲子園出場を目指し、全力で挑みます。ぜひセルラースタジアム那覇に足を運んでいただき、本校野球部へ熱いご声援をお願いいたします。夢の甲子園へ！ 頑張れ糸満高校野球部！

【本校野球部 OB 熱いエール！】本校野球部を支えるOBや関係者から熱い応援メッセージが届いています。

① 宮國 稜丞さん（元読売ジャイアンツ・横浜 DeNA ベイスターズ/第92回大会準優勝・投手）

「これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れずに、ベンチに入れなかった3年生の思いも背負ってプレーしてください。期待しています！」

② 神里和毅さん（横浜 DeNA ベイスターズ/第93回大会優勝・甲子園初出場）

③ 垣花和志先生（本校公民科職員/第92回大会準優勝）（俊足・攻守の内野手）

④ 大城康成先生（本校体育科職員/第75回大会野球部キャプテン）

⑤ 山城芳則校長（第93回大会優勝・甲子園初出場時野球部部長）

【これはすごい！ 感動！！ データ分析班！！】

皆さんはご存じでしょうか。実は、本校野球部には「データ分析班」があります。今大会の快進撃は、もちろんグラウンドで躍動する選手たちの努力と活躍によるものです。しかし、その活躍を陰で力強く支えているのが、このデータ分析班の存在です。

昼休みになると、物理教室では分析班によるミーティングが行われています。そこでは、相手チームの打者の特徴や傾向、投手の球種や配球パターンなどを詳細に分析し、選手たちへ分かりやすく説明しています。さらに、攻撃や守備における具体的な対策まで提案しており、その内容は驚くほど専門的です。

まさに、データを収集し、分析し、課題を発見し、解決策を導き出す「探究的な学び」の実践そのものです。教室での学びが部活動の中で生かされ、チームの力へとつながっています。

そして、私が何よりも感動したのは、分析班の3年生たちの姿です。ベンチ入りを果たせなかった彼らは、「自分たちにできるチームへの貢献は何か」を真剣に考え、自ら分析班を立ち上げました。自校の試合を応援したい気持ちを抑えながらも、他球場へ足を運び、将来対戦する可能性のある強豪校の試合を何度も視察してきました。「必ずチームを勝たせたい」その一心で、仲間のため、チームのために黙々とデータを集め、分析を重ねてきたのです。自分が試合に出ることはなくても、チームの勝利のためにできることを全力でやり抜く。その姿勢に私は深い感動を覚えました。そして、心から感謝しています。

野球は9人だけで戦うスポーツではありません。グラウンドでプレーする選手、ベンチの仲間、マネージャー、分析班、指導者、保護者、同級生、地域の皆様など、多くの人の力が結集してこそ強いチームになります。だからこそ、糸満高校は強いのです。私は、このチーム力は沖縄一、いや日本一、そして世界一だと誇りをもって言えます。甲子園という大きな夢に向かって、一丸となって怒涛精神で突き進む糸満高校野球部。選手たちの挑戦はまだ続きます。つかめ甲子園！皆様の温かいご声援をよろしくお願いいたします。

校長より

創立 80 周年記念事業 学校車寄贈！

6月19日（金）、本校創立80周年記念事業期成会会長の大城 健 様、副会長の野原 哲 様より、本校へ学校車を寄贈していただき、校内で贈呈式を行いました。創立80周年の節目に、このような温かい御支援を賜りましたことに、教職員・生徒一同、心より感謝申し上げます。寄贈していただいた学校車は、教育活動や部活動、校外学習などで大切に活用してまいります。期成会の皆様、誠にありがとうございました。



～ 令和7年度県費派遣留学から帰国 ～

「国際性に富む人材育成事業（県費留学）」により海外へ派遣されていた、3年1組の新垣佑子さん（フィリピン）、3年2組の玉城あかりさん（アルゼンチン）が、1年間の留学を終えて帰国しました。

異なる文化や価値観に触れながら、語学力をはじめ多くの学びと貴重な経験を積んできたことと思います。1学期終業式では留学報告会を行い、現地での体験や学びを全校生徒に紹介してもらう予定です。



～ 2026年糸満郷友会・南山同窓会 ～

5月30日（土）、東京都で開催された糸満郷友会・南山同窓会合同総会に参加しました。今年は大城同窓会長、私に加え、当銘糸満市長にも御参加いただき、約60名が集いました。会場では、同窓生の皆様から母校や後輩たちへの温かい激励の言葉が寄せられ、校歌斉唱では大合唱となりました。

また、卒業生横浜 DeNA ベイスターズの神里和毅選手から、野球部へ「3度目の甲子園出場を期待しています！」との力強いエールを頂きました。

